

☆公害による健康被害を許すな!
☆自然環境・生活環境の破壊を許すな!



大阪から公害をなくす会 ニュース

大阪から公害をなくす会

〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19
内本町松屋ビル10 370号
TEL 06-6949-8120
FAX 06-6949-8121
E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp
URL http://oskougai.com/
発行責任者 芹沢 芳郎
年間購読料一部2,000円(送料共)
郵便振替 00910-7-300387



172名が参加した集会

2010年1月30日(土)午後1時から、第38回公害・環境デーが、172名の府民参加をえて成功裏に開かれました。基調講演を含む9つの報告と質疑を交えた約3時間半の集



あいさつする芹沢会長

「一人暮らしのぜんそく患者は夜が怖いねん!」 もう待てない! 急げ被害救済・温暖化防止対策 〜第38回公害・環境デーからのレポート〜

日への力が残るいい集会でした。本年85歳、今なお現役の芹沢会長が開会挨拶にたち「2009年度の活動の中に、温暖化防止を大きく位置づけCOP15には代表派遣も行った。結果は協定の締結とまでは至らなかったが、温暖化防止問題を避けて通れない世界政治の課題に据えたことは大きな成果であった。『』など格調高い訴えをされました。

起草委員会による基調報告は、本集会のスローガンである「もう待てない、公害被害の早期救済を」を課題別に整理し、「公害は終わっていない」と主張を展開するものでした。

報告の第一は、寸劇による「あおぞらプロジェクト」活動。「一人暮らしで夜が怖いねん」「財布の中身見てからしか病院に行

行かれへん」「酸素ボンベと薬代で生活費が消える」「東京で、お金の心配なく病院に行ける」とホットしてはった」など公害患者の切ない暮らしぶりが淡々と語られました。

第二報告は、大阪府・大阪市の公害対策の基本となるデータの採取方法変更に伴う看過できない数値低下に関する西川榮一先生からの問題提起です。測定法を湿式法から乾式法に変更した途端に平均で8.4ppb・13%も低下する異常をデータで指摘されました。

第三「寝屋川廃プラ処理による健康被害救済と操業ストップを求める裁判」第四「泉南アスベスト国賠訴訟」に二つは患者さんが舞台上に横断幕を掲げ、廃プラ排ガスという未知なる化学物質、国の怠慢によって被害を止めることにできなかったアスベスト、いずれも被害の根絶を訴えられました。

第五報告はCOP15参加報告、会議も目的・成果、開催国の高度な福祉・環境政策をスライドで報告。第六報告は、温暖化防止を口実とした原発推進の問題点を、6点に整理して問題指摘第七報告は、公害裁判和解後の運動の継続のあり方の一つとして行っている道路や交差点のありかた研究。最後は、今大阪府が行っている「新環境総合計画」策定議論の内容と意見提出を訴えました。

大阪の公害は終わっていない! いずれの運動も、成否は府民の世論が握っています。

(藤永のぶよ)



次頁に参加者による感想文があります。